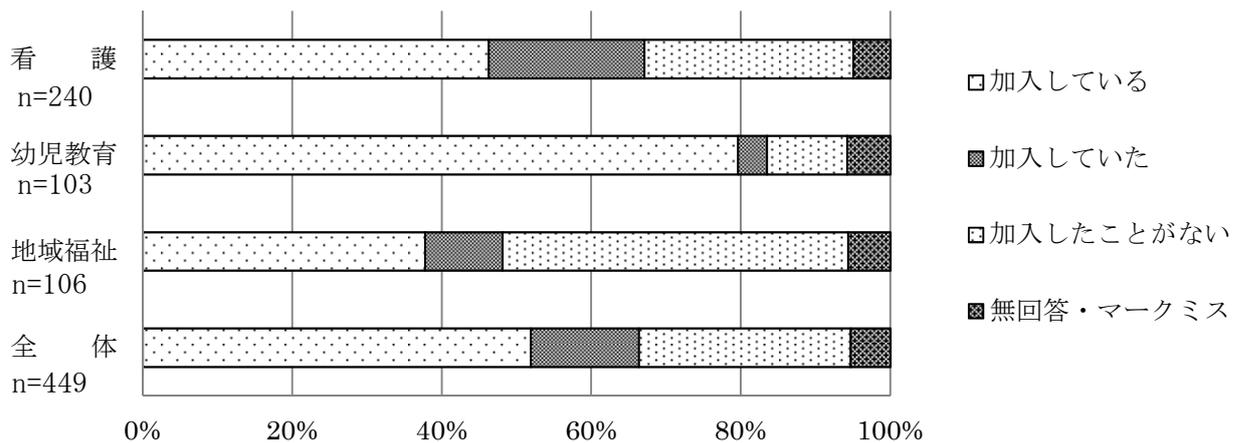


F. 課外活動関係

課外活動団体への参加

全体で見ると、加入している、加入していた学生は7割弱であった。学科で比較すると、幼児教育学科の参加率が高くなっていた。

F-38 課外活動団体への参加

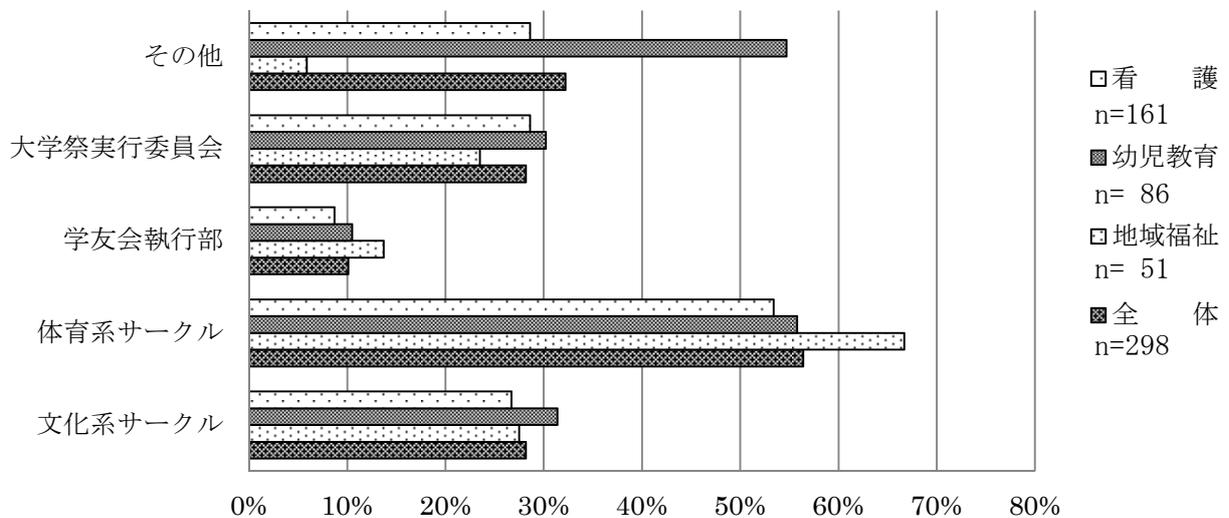


所属している(いた)団体(複数回答)

全体で見ると、体育系サークルが最も多く、56.4%であった。学友会執行部に所属している学生は10.1%であったが、これは人数の制限があるためと考える。学科の特徴をみると、看護学科・地域福祉学科では体育系サークルが多く、幼児教育学科では体育系サークルと共にそのほかが多かった。

前回調査では、体育系サークル・文科系サークル共に35%前後であったが、今回の調査では体育系サークルの所属者が20%も増加していた。体育館が新築され、地域との交流が活発になっていることも影響していると考えられる。

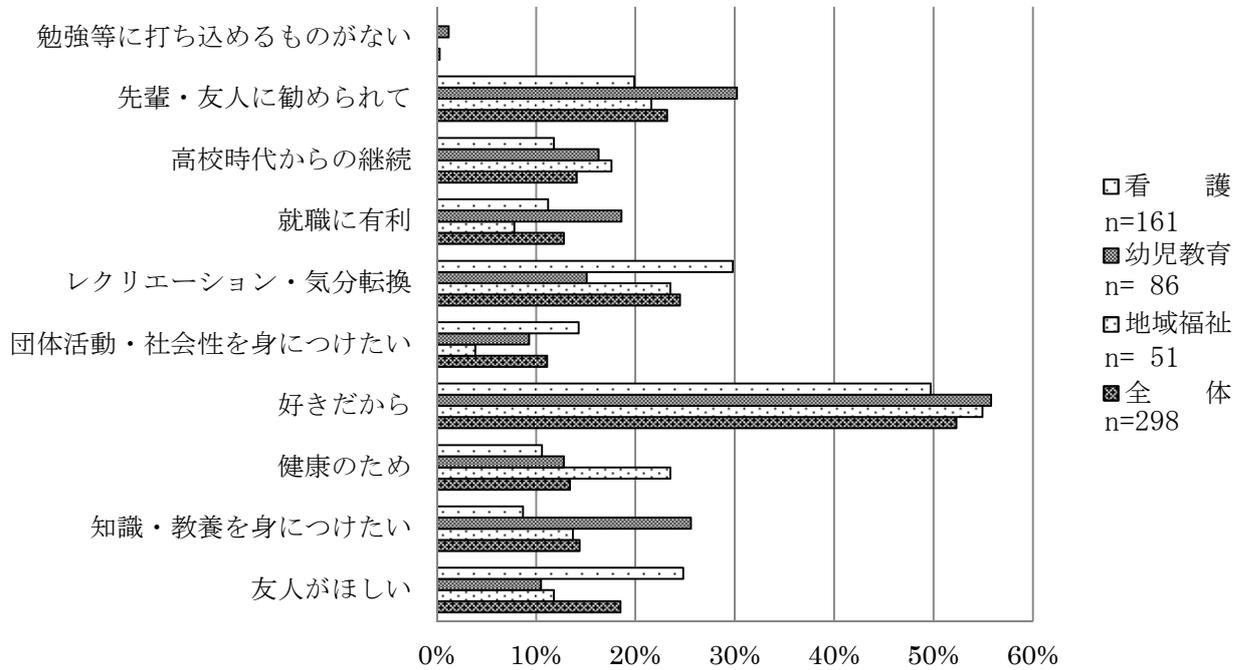
F-39 所属している(いた)団体 (複数回答)



課外活動団体への加入動機(複数回答)

全体で見ると、好きだから 52.3%という理由が最も多く挙げられた。次いでレクリエーション・気分転換 24.5%、先輩・友人に勧められて 23.2%が多かった。これは、前回調査と同様な結果であった。

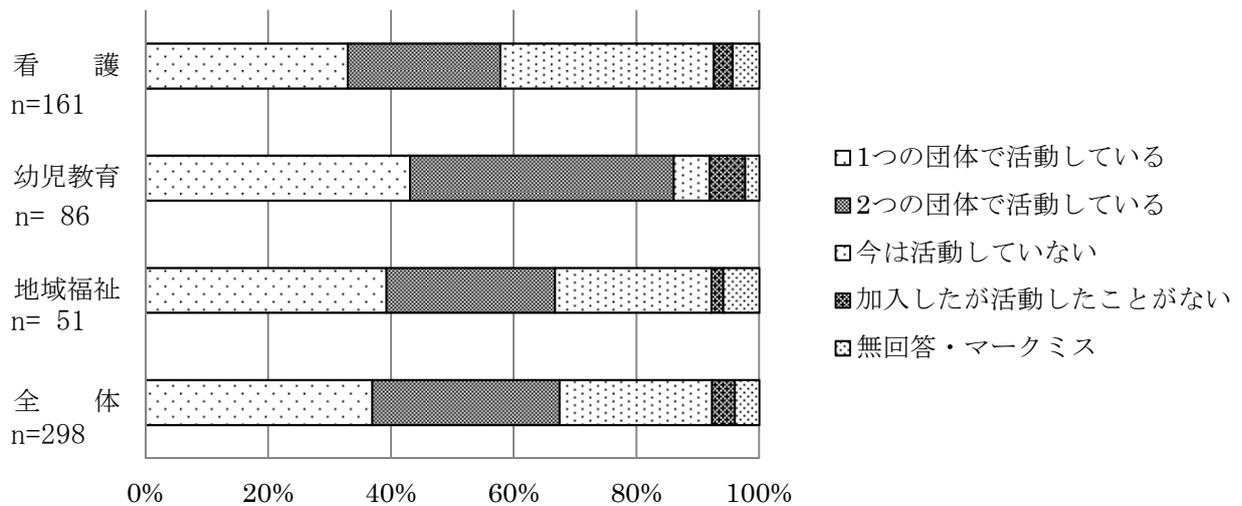
F-40 課外活動団体への加入動機(複数回答)



課外活動団体における活動状況

全体で見ると、1つの団体で活動している学生が 36.9%、2つの団体で活動する学生は 30.5%と多かった。学科の特徴をみると、幼児教育学科では 2つの団体で活動していると回答した学生が多かった。

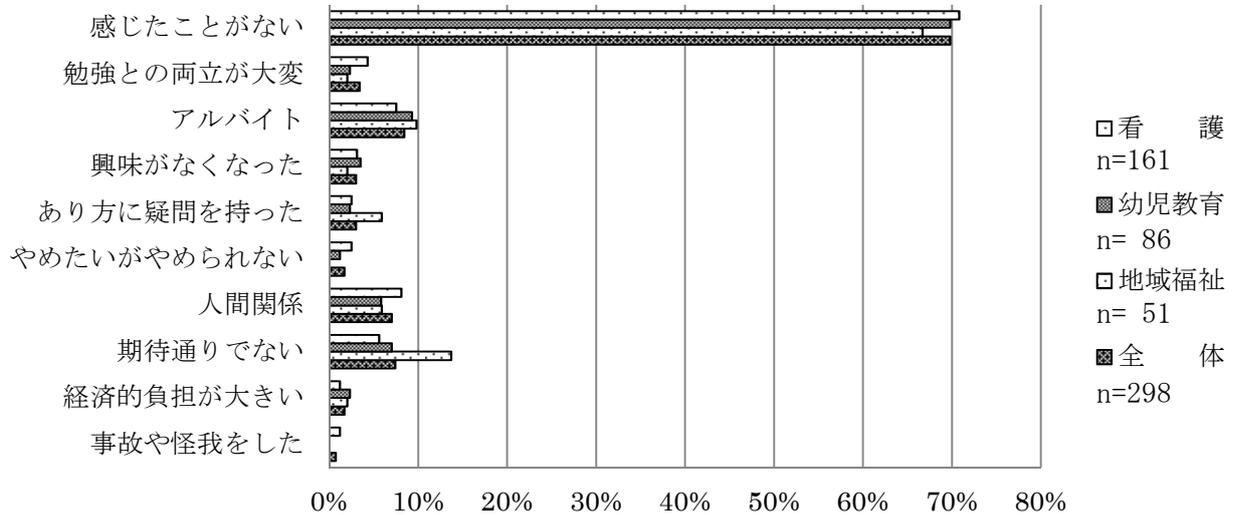
F-41 課外活動団体における活動状況



課外活動でのトラブルや疑問の有無(複数回答)

全体・各学科とも、トラブルや疑問を感じたことがないと回答した学生が 70%前後と最も多かった。次いで、アルバイトとの両立が大変、期待通りでないが 10%弱であった。

F-42 課外活動でのトラブルや疑問の有無(複数回答)



課外活動団体に加入していない(しなかった)理由

全体で見ると、ただ何となくしなかった学生が最も多く、44.8%であった。次いで、適したサークルがない9.3%、アルバイトが忙しい6.2%であった。家族が反対は0%であった。

F-43 課外活動団体に加入していない(しなかった)理由

